

競技上及び審判上の注意事項

1. ベンチは組合せ番号の若い順を一塁側とし、攻守は受付時の抽選で決める。
2. 試合は6回戦とし、1時間30分を過ぎて新しいイニングには入らない事とする。
勝ち逃げありルールを採用。決勝戦のみ2時間とする。
3. 得点差によるコールドゲームは4回10点差、5回以降7点差とする。
4. 延長戦は行わず、6回終了時、又は制限時間を過ぎて同点の場合はタイゲームとして正式試合を打ち切り、特別方式を適用し試合を続行する。特別方式は最大1イニングまでとし、勝敗が決しない場合は抽選によって勝敗を決定する。
(特別方式)
特別方式は継続打順とし、前回の最終打者を1塁走者として、2塁の走者は順次前の打者とする。すなわち無死1・2塁の状態にして試合を行う。
5. 投手の投球制限については健康維持を考慮し1日70球までとする。
なお、ボークの投球も投球数と数える。
試合途中に既定の投球数に達した場合、その打者打撃を完了するまで投球できる。
また、投手が他のポジションに交代後、再登板する事が出来る。
※ 各チーム1名ずつ、投球数をカウントする係を出していただきます。
6. 降雨、日没等による正式試合の成立は5回終了時とする。
7. 選手は0番から99番までの背番号を必ずつける事。但し主将は10番とする。
選手は男女を問わず、ベンチ入りは9名以上20名までとする。
8. リエントリー制を採用する。
ベンチ入り選手を全員出場させたのち、アクシデントにより試合継続不可能になった場合、最後に交代した選手が再出場できる(ベンチ入り10名以上の場合)。
9. 試合中ベンチに入れる大人はチーム代表者(引率者)、監督(30番)、コーチ2名(28・29番)、マネージャー1名、スコアラー1名の計6名以内とする。
10. 試合開始・試合終了の際、選手はホーム前に集合せず、1塁・3塁のライン前に間隔をあけて整列とする。
11. 監督に限りグラウンドに出て指示などを出来る事。
なお、試合前の練習等は監督・コーチ(28・29番)以外はグラウンドに入れない。
12. タイムの制限については監督及び守備側が投手のところに行ける回数を3度以内とする。尚、攻撃側も3度以内とする。特別方式となった場合は1度のみ認める。
13. 抗議のできる者は監督及び当該プレイヤーとする。(判定についての疑義は認めない)
14. 捕手は危険防止の為、J・S・B・Bのマークが入ったキャッチャーマスク、レガース、プロテクター、キャッチャーミット、捕手用ヘルメット、ファウルカップを着用の事。
15. 打者・走者・次打者・ベースコーチはイヤーフラップのついたヘルメットを着用の事。
16. 金属・ハイコンバットはJ・S・B・Bの入ったものを使用する事。
17. 守備が終わり、最後のボール保持者は必ずマウンドにボールを置いてベンチに戻る事。

18. 寒い中のゲームの為、ネックウォーマー着用、及び内野ボール廻しは認める。
19. 試合中、及び球場への往復の事故につきましては主催者は一切責任をもちませんので、ご注意の上、参加して下さい。

大会運営上の注意事項

- 試合当日は来場される選手・指導者・保護者全員が検温し、平熱以上の体温や体調不良と感じられる場合は来場をお控え下さい。
- 新型コロナ、インフルエンザ感染による体調不良のために選手の人数が揃わない場合は、無理をして参加することなく、勇気をもって棄権することをご検討下さい。
※ 自チームの理由による大会途中の棄権は翌年度の大会参加をお断りしますが、新型コロナ、インフルエンザによる棄権は除くものと致します。
- 試合当日は時間に余裕をもってグラウンドへご来場下さい。
- 到着次第、大会本部にて受付を済ませて下さい。
受付時、本部より試合グラウンド・アップ可能な場所を指示します。
- 受付順に先攻・後攻のカード抽選を行います。
- 多摩川緑地は野球グラウンド以外のグリーンベルト地帯（芝生地）でのノック、打撃練習（素振りを含む）等は大田区公園条例により禁止されています。
マナーの悪いチームは次年度は出場をお断りする場合がありますのでご注意ください。
- 各地区とも春季大会の開催予定等ありますので、二回戦以降都合の悪いチームは不戦敗となりますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。
- 駐車場は1日1台あたり500円となります。
マイクロバスで来場するチームは六郷橋緑地駐車場をご利用下さい。
- 当日、雨天又はグラウンド不良の場合は中止とし、順延にはなりません。
日程は後日、城南連盟ホームページにてご確認下さい。

連盟携帯：080-3124-0608（広川）

城南連盟 HP：<http://johnan-renmei.com/>